



2013年7月16日

# 株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2014年2月期 第1四半期 決算説明資料



---

# 2014年2月期 第1四半期 決算説明

# 2014年2月期 第1四半期 連結業績の概要

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)	2014/2月期 1Q会計期間
売上高	7,564
売上総利益	2,088
営業利益	101
経常利益	103
税引前当期純利益	100
法人税等	60
四半期純利益	39
1株当たり四半期純利益	
	77円/株

## ●連結貸借対照表

(単位:百万円)	2013/2月期末	2014/2月期 1Q会計期間	増減
流動資産	7,821	6,516	△1,305
固定資産	4,328	4,192	△135
総資産	12,149	10,709	△1,440
負債	6,711	5,300	△1,411
純資産	5,438	5,408	△29
負債純資産合計	12,149	10,709	△1,440

## トピックス

### 連結対象範囲の変更

当期よりTWO-BASE株式会社に加え、新たに当社100%子会社のカードフレックスジャパン株式会社を連結対象範囲に適用

### 連結子会社 2013/3-2013/5累計 損益計算書

(単位: 百万円)	TWO BASE	カードフレック スジャパン
売上高	1	0
営業利益	△7	△17
経常利益	△7	△17
四半期純利益	△7	△17

### 純資産の増減内訳

ティーツー 11百万円  
 TWO-BASE △7百万円  
 カードフレックスジャパン △33百万円

# 2014年2月期 第1四半期 個別業績の概要

## ●比較損益計算書(個別)

(単位:百万円)	2013/2月期 1Q会計期間	2014/2月期 1Q会計期間	増 減
売上高	8,028	7,563	△464
売上総利益	2,361	2,087	△273
営業利益	225	126	△99
経常利益	219	128	△90
税引前当期純利益	217	126	△91
法人税等	105	60	△44
四半期純利益	112	65	△46
1株当たり四半期純利益	217円/株	127円/株	

## ●比較貸借対照表(個別)

(単位:百万円)	2013/2月期末	2014/2月期 1Q会計期間	増 減
流動資産	7,803	6,200	△1,603
固定資産	4,384	4,583	198
総資産	12,187	10,783	△1,404
負債	6,710	5,294	△1,416
純資産	5,477	5,489	11
負債純資産合計	12,187	10,783	△1,404

### ■主な資産の増減

現預金 増減額△1,418百万円  
 商品 増減額 △176百万円  
 子会社株式 増減額300百万円

現預金の減少、商品在庫の圧縮等により総資産は減少



### ■主な負債の増減

借入計 増減額△623百万円  
 買掛金 増減額△467百万円

借入金の返済、買掛金の減少等により負債は減少

## 2014年2月期 第1四半期 貸借対照表(個別)の状況

(単位:百万円)	2013/2末		2013/5末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	7,803	64.0%	6,200	57.5%	△1,603
現預金	2,641	21.7%	1,222	11.3%	△1,418
売掛金	307	2.5%	290	2.7%	△17
商品	4,259	35.0%	4,083	37.9%	△176
貯蔵品	26	0.2%	26	0.2%	0
その他	568	4.7%	577	5.4%	9
固定資産	4,384	36.0%	4,583	42.5%	198
有形固定資産	1,540	12.6%	1,457	13.5%	△82
建物及び構築物(純額)	819	6.7%	796	7.4%	△23
その他(純額)	720	5.9%	661	6.1%	△59
無形固定資産	307	2.5%	298	2.8%	△9
投資その他の資産	2,536	20.8%	2,827	26.2%	290
差入保証金	1,220	10.0%	1,209	11.2%	△11
子会社株式	42	10.8%	342	3.2%	300
その他	1,273	10.8%	1,275	11.8%	1
総資産	12,187	100.0%	10,783	100.0%	△1,404

(単位:百万円)	2013/2末		2013/5末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,710	55.1%	5,294	49.1%	△1,416
流動負債	3,303	27.1%	2,269	21.0%	△1,033
買掛金	1,034	8.5%	566	5.3%	△467
短期借入金	450	3.7%	0	0.0%	△450
1年内長期借入金	623	5.1%	785	7.3%	161
未払法人税等	255	2.1%	67	0.6%	△187
その他	940	7.7%	850	7.9%	△90
固定負債	3,406	28.0%	3,024	28.0%	△382
長期借入金	2,377	19.5%	2,042	18.9%	△334
資産除去債務	417	3.4%	419	3.9%	2
その他	611	5.0%	561	5.2%	△50
純資産	5,477	44.9%	5,489	50.9%	11
株主資本	5,474	44.9%	5,483	50.9%	9
評価・換算差額等	△0	0.0%	2	0.0%	2
新株予約権	3	0.0%	3	0.0%	0
負債純資産合計	12,187	100.0%	10,783	100.0%	△1,404

# 2014年2月期 第1四半期の状況

## ○ 業績の状況

- 売上高は、新品ゲームの有力タイトルの発売が前期に比較して少なかったことから、新品ゲーム及び中古ゲームが低調に推移、加えて古本等既存の中古商材も低迷したため、売上は前期を下回った。
- 前期5店舗出店したTSUTAYA店舗のレンタル事業やトレーディングカード拡販等、前期より実施している重点施策の商材においては、順調に推移。
- EC部門においては、販売チャネルの拡大等により、引き続き順調な売上。
- 経費面では、店舗の業務効率化を中心としたコスト構造の見直しにより、固定費を中心とした販売管理費を削減。
- 売上高減少に伴う売上総利益の減少分が、販売管理費削減額で補うことができず、営業利益は減少。

(単位:百万円)	1Q 累計(個別)		
	今期	前期	増減 前期比
売上高	7,563	8,028	△465 94.2%
売上総利益	2,087	2,361	△274 88.4%
販売管理費	1,961	2,135	△174 91.8%
営業利益	126	225	△99 56.1%

(ご参考)

リアル店舗 売上高(前年比)	92.8%
EC 売上高(前年比)	128.7%

## 2014年2月期 連結業績予想

### ■業績予想について

2013年7月16日開示の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり見直しを行いました。

### 修正のポイント

- ◎カードフレックスジャパン株式会社を新たに連結対象範囲とする変更に伴った利益面の修正。
- ◎第2四半期累計期間の業績予想数値の修正。
- ◎通期の売上高では、第3四半期に有力な新作ゲームタイトルの発売や、期初から取り組んでいる各種事業戦略が売上貢献する見通しから、回復基調となる見込み。
- ◎通期の利益面では、売上回復見通しに加えコスト構造の見直し効果もあり、連結対象範囲の変更に伴う要因のみの修正。

(単位:百万円)	2013年2月期 通期実績	2014年2月期 第2四半期予想			2014年2月期 通期予想		
		前回予想	今回修正	増減額	前回予想	今回修正	増減額
売上高	34,202	15,500	14,600	△ 900	33,000	32,600	△400
営業利益	604	310	152	△ 158	710	610	△ 100
経常利益	619	310	150	△ 160	700	600	△ 100
当期純利益	244	140	43	△97	310	210	△ 100
EPS	473円	271円	83円	—	601円	407円	—



# 2014年2月期 連結配当予想

## ■配当予想の修正について

当社は配当に関して、配当性向25%以上を目処として業績に応じた配当を安定的に実施することを基本方針としております。

業績予想の修正にともない、連結当期純利益の減少が見込まれることから、配当予想の修正をさせて頂きます。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成25年4月15日発表)	—	円 銭 110.00	—	円 銭 1.10	円 銭 —
今回修正予想	—	80.00	—	0.80	—
前期実績 (平成25年2月期)	—	110.00	—	110.00	220.00

(注)当社は、平成25年4月15日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。

(注)年間配当金の期末欄の記載については、株式分割後の配当予想額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない期末配当予想修正額は80円、通期の配当予想合計額は160円となります。

## ■配当性向の実績と計画

	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(実績) 2010/3-2011/2	第22期(実績) 2011/3-2012/2	第23期(実績) 2012/3-2013/2	第24期(予想) 2013/3-2014/2
当期純利益	741百万円	387百万円	△19百万円	244百万円	210百万円
配当金	153百万円	134百万円	113百万円	113百万円	82百万円
配当性向	20.7%	34.7%	—	46.4%	39.3%

(注)22期は個別当期純利益及び個別配当性向



---

# 事業戦略の進捗状況

# 既存事業における事業戦略の概要

## マルチパッケージ販売事業（既存事業）の施策

### リアル店舗

#### 既存 収益力の強化

- ・売場改革、店舗改装
- ・新商材・サービス投入
- ・販促戦略の改善
- ・オペレーションの改善

#### 新規 将来収益の拡大

- ・臨機応変な出店
- ・新業態の開発
- ・業態転換も視野
- ・M&Aも検討

### EC

#### さらなる収益拡大

- ・顧客、客単価、頻度up  
(機能改善・マーケティング)
- ・販売間口の拡大
- ・買取手法の多様化
- ・提携戦略の深化と継続
- ・新規商材の開発

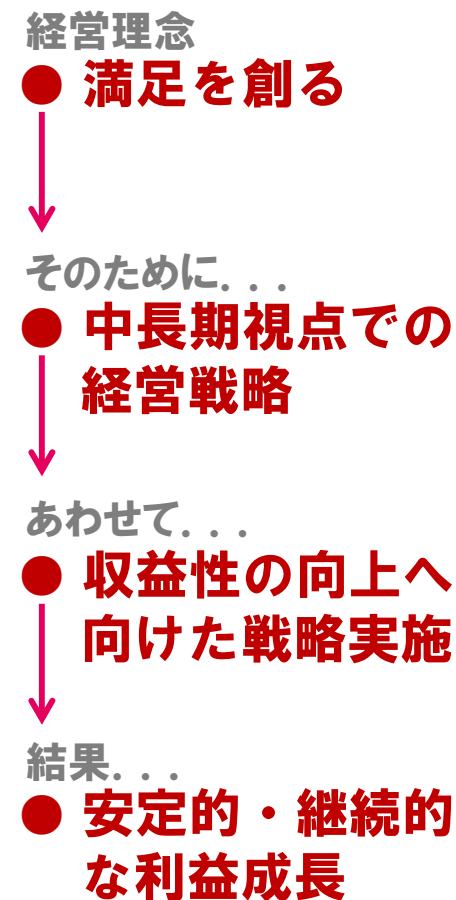


### ローコスト・オペレーション（販管費の低減、利益率の向上）

事業部門	本社部門
------	------

- ・業務の効率化
- ・店舗PA比率の適正化
- ・人件費コントロール

### 人財戦略（採用、教育研修、評価、昇進・昇格）



# リアル店舗における既存店強化策の概要

さらなる収益拡大に向けての投資・改善と、採算性向上に向けた業務改革

## 売場改革・店舗改装

～ 買いたくなる、買い易い、また来たくなる店へ ～

- ◎取扱い商材の売り場構成を適正化するための積極的な改装
- ◎来店者の顧客化、購買率の向上、再来店誘導へ向けた売場構築
- ◎トレカパークの拡大

## 新商材・サービスの投入

～ キーワードは『データに置き換わらないもの』～

- ◎地域・季節ニーズに適合した商材を店舗別に投入
- ◎プライベートブランド商材の制作を拡大
- ◎新サービスの開発と商品化

# 既存店の強化

- ◎既存顧客の把握・分析・セグメント化  
帰属データ・嗜好データ・購買データから総合的に判断

- ◎顧客属性に適合した施策と告知
- ◎ポイント戦略の改善

## 販促戦略の改善

～ 顧客属性の明確化×適切な施策×告知媒体 ～

- ◎改善専門部署、担当の設置

- ◎マニュアルの整備と業務標準化

- ◎PA比率適正化による店舗経費の低減

- ◎既成概念に囚われない効率化への取り組み

## オペレーションの改善

～ 筋肉質の店舗運営体制に向けて ～

# 事業戦略の進捗状況（売場改革・店舗改装）

## ○ 収益拡大のための改装

### 前期に業績拡大が実証されたトレカパークの設置を推進

- ◎大阪日本橋にトレーディングカード専門店を出店
- ◎1Q会計期間にはトレカパークを計9店舗開設し、合計28店舗に。(5/31現在)
- ◎2Q以降も積極的に設置展開



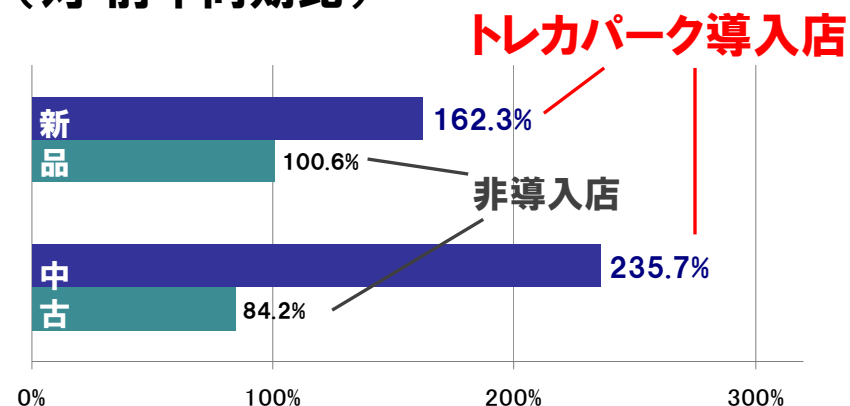
### トレカパーク設置店舗数推移

	2013/2末	新規導入	2013/5末
トレカパーク設置店	19店舗	8店舗	27店舗
トレカパーク専門店	—	1店舗	1店舗
合計	19店舗	9店舗	28店舗

### 1Q会計期間トレカパーク新規設置店舗

- 2013/3 トレカパーク日本橋店（大阪）  
ブック・スクウェア ララパーク店（三重）
- 2013/4 古本市場 東豊中店（大阪）  
古本市場 川口伊刈店（埼玉）  
古本市場 生野店（大阪）  
古本市場 市川鬼高店（千葉）
- 2013/5 古本市場 箕面店（大阪）  
古本市場 上尾店（埼玉）  
古本市場 深谷店（埼玉）

### 1Q会計期間 トレーディングカード売上高（対前年同期比）



（参考）

### トレカパーク導入後の導入店実績（2013/10月以降順次導入）

新品147.1% 中古220.7%

（いずれも導入店の対前年同期比）

# 事業戦略の進捗状況（新業態の開発）

## ○ 新規出店、新業態の開発

顧客ニーズに適合した新規出店を継続実施。

### ■トレカパーク日本橋店（大阪市浪速区難波中2丁目4-9） 3/17オープン

- ◎トレーディングカードのメッカ、大阪日本橋に出店
- ◎同業の密集している立地
- ◎トレーディングカード専門店



トレカパーク日本橋店

### ■ブック・スクウェア東大和店 6/28オープン

- ◎ショッピングモール内に出店
- ◎お客様のニーズに応じた店舗パッケージ  
→スクラップ&ビルドにより取扱商材の変更  
（古本→新刊本）
- ◎お客様の導線を意識した店舗レイアウト・POP

#### レイアウト

- ・回遊性を持った売り場
- ・選びやすい売り場
- ・興味を引かれる売り場

#### POP

- ・最適箇所
- ・最適サイズ・量
- ・最適な期間掲示



ブック・スクウェア  
ザ・マーケットプレイス東大和店

## 事業戦略の進捗状況（新商品・サービスの投入）

### ○新商材・プライベートブランド商材の開拓

新規導入のキーワードは「データに置き換わらないもの」

◎季節商品の投入（扇風機・花火・水遊びグッズなど）

◎文具などの生活雑貨系、スマホグッズ系、ホビーの積極投入

各店舗において成功可能性の高い商材を店舗別に投入



コンパクト扇風機売り場

### ○新サービスの提供

#### ポイントシステムのリプレイス

お客様に有効なポイントカードを使った販促手法を確立する

◎ポイントシステムリニューアルプロジェクト発足

店舗でお客様アンケートを実施

→お客様のニーズに合った販促方針を確立し、ポイントシステムの構成を決定していく。

2014年2月 新ポイントシステム完成予定



新ポイントシステムへ



# 事業戦略の進捗状況（ローコスト・オペレーション）

## ○ オペレーションの改善

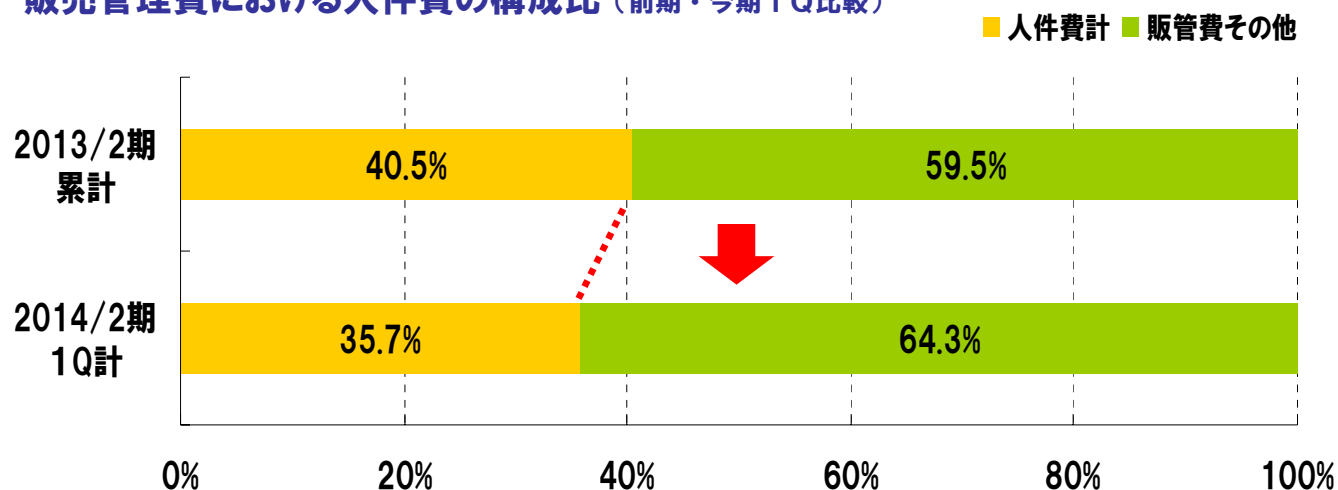
◎既成概念を廃した上で現状の業務見直しを行い、効率の改善による収益力の向上を図る。

### 【人件費】

人件費を適正水準にコントロール

→前期末に比べ、販売管理費に占める人件費の割合が減少

■店舗 販売管理費における人件費の構成比（前期・今期1Q比較）



筋肉質な  
店舗運営  
の実施

### 【その他経費】

店舗・本部経費を見直し、コスト削減を実施

→社用車の配置見直し、業務の整理と削減、  
本部一括管理の増加、消耗品の見直し・変更等



# 事業戦略の進捗状況

## ○ EC事業

### ◎ マーケットプレイス戦略深化

新たな販売・買取アライアンス先の拡大

#### ・ポンパレモールへ出店

リクルート社の運営するネットショッピングモール「ポンパレモール」へ出店

古本漫画全巻セットを中心に、  
古本、中古ゲーム、中古CD、  
中古DVD/ブルーレイをラインナップ

#### ・モバオク！へ出品開始

DeNA社が運営するオークションサイト「モバオク！」へ、古本漫画全巻セットを出品



ポンパレモール フルイチオンラインページ



モバオク！ フルイチオンライン出品ページ

## 事業戦略の進捗状況

---

### ○ 人財戦略

人事制度の改正に着手、会社と社員が共に成長できる制度と環境を実現する

#### ◎店舗社員の評価シート改訂実施

店舗社員がどのような行動をとり、何をすれば良いのかを具体的に明示  
それらが評価軸となることで、顧客満足につながる行動を促す。

#### ◎人事制度改訂プロジェクト発足

「人財採用」「人財育成」「能力把握」「能力活用」を正しく  
機能させることができる人事制度を再定義する。

#### ◎PA人事制度構築プロジェクト発足

社員に準じた会社貢献度を確保できるPAを育成し、登用する。  
具体的な戦力化構想を決定していく。

- ・PA戦力化の施策決定
- ・PA勤務体系の指針明示

## 新規事業

### ○ ペットサプリメント事業

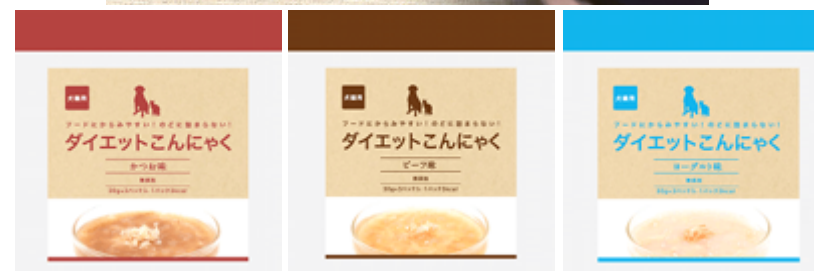
◎WEB通販のみの専売から、リアル店舗での販売体制へと販路を拡充。

- ・ペットショップチェーン店での取り扱い開始
- ・大手量販店で取り扱い開始

### ◎新商材の開発・投入

森の食卓シリーズを開発・投入

- ・犬猫用調味料、無塩しょうゆの販売開始
- ・犬猫用フード、ダイエットこんにゃくの販売開始



### ○ プリペイドカード事業

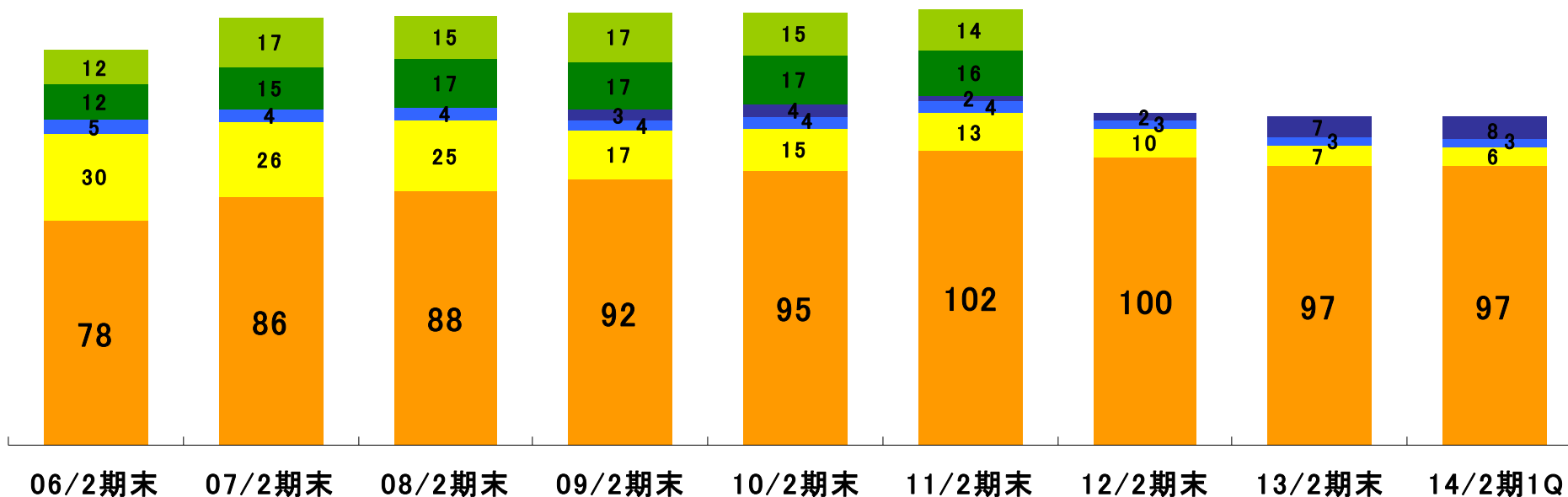
事業の本格化に向けて、追加増資を実施(300百万円)。  
サービス開始に向けて、諸手続きを含めて順調に進行中。

---

## 參考資料

# 〔ご参考〕2014年2月期 第1四半期 店舗の状況

■古本市場 直営店 ■古本市場業務提携・FC店 ■ブック・スクウェア ■その他 ■アイ・カフェ直営店 ■アイ・カフェFC店



	2013/2期	2014/2期 1Q			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	97(1)	—	—	97(1)	—
古本市場業務提携・FC店	7	—	1	6	△1
ブック・スクウェア	3(1)	—	—	3(1)	—
3Bee直営店	3(3)	—	—	3(3)	—
TSUTAYA(単独店)	2	—	—	2	—
その他	2	1	—	3	1
<b>合計</b>	<b>114(5)</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>114(5)</b>	<b>0</b>

※カッコ内はTSUTAYA併設店となります。

## 会社概要

---

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田7-1-1住友五反田ビル5F
代表者	代表取締役社長 堀 久志
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取 及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営  2.インターネットサイト「furu1online」の運営
従業員数	正社員 377人、パート・アルバイト 1,234人 計1,611人(2013年5月末現在)
資本金	1,165百万円(2013年2月末現在)
発行済株式数	526,400株：単元株制度なし(2013年2月末現在)
株主数	5,831名(2013年2月末現在)



# More Friendly

～もっと親しみやすく～

本資料は、2014年2月期第1四半期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年7月16日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 藤巻、宮、中村  
TEL03-5719-4775 FAX03-5719-4583  
E-mail: ir@tay2.co.jp